



2019. 7. 6 香川県立五色台少年自然センター（香川県高松市生島町423番地）で撮影

シーボルトミミズ

（フトミミズ科フクロフトミミズ属）

四国、九州を中心に西日本で見られる日本固有種こゆうしゅのミミズです。日本最大のミミズの一つで、大きいもので40cmにもなります。体全体が青紫色あおむらさきいろで光沢こうたくがあり、ウナギ釣りの餌えさとして使われることもあるようです。

江戸時代に来日したドイツ人、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトほんしゅ ひょうほんが本種の標本を持ち帰ったことから採集者さいしゅうしゃにちなんで名付けられました。地域によっては「カンタロウミミズ」と呼ぶところもあります。

産卵時期さんらんじきは夏で、卵のまま冬を越し2年目の初夏しょかに孵化ふかします。そのまま成長して、3年目の夏に産卵するとそのまま一生を終えるため、3年周期しゅうきで世代せだいが代わります。